

連絡先：物流・自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線42361  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和6年1月26日

リコール届出番号	5435	リコール開始日	令和6年1月29日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高 祥博 問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	燃料装置（燃料ポンプ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	交換修理用部品の燃料ポンプのインペラ（樹脂製羽根車）において、成形条件が不適切なため、樹脂密度が低くなって、燃料により膨潤して変形することがある。そのため、インペラがポンプカバーと接触して燃料ポンプが作動不良となり、最悪の場合、走行中エンストに至るおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、燃料ポンプアセンブリを対策品と交換する。		
不具合件数	4件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：交換修理用部品として出荷し、組付けられた車両を追跡調査・特定の上、その使用者に周知して、改修等を行う。</li> <li>・自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・弊社のインターネットホームページに掲載する。</li> </ul>		

交換修理用部品として出荷し、組付けられた可能性がある車両が特定できたもの

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	EBL-RP17J	「XJR1300」	RP17J-000093～RP17J-001285 平成18年11月15日～平成19年9月5日	3台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成18年11月15日～平成19年9月5日	(計3台)	

交換修理用部品として出荷し、組付けられた車両が特定できないもの

対象の部品名称	部品番号	対象部品の出荷期間	対象部品数	備考
燃料ポンプ アセンブリ	5UX-13907-10	平成29年7月3日～平成31年3月1日	42 個	「XJR1300」 「XJR1300L」
	5UX-13907-11	平成31年3月6日～令和2年11月22日	47 個	
	2D1-13907-02	平成29年7月14日～平成31年1月26日	37 個	「FZ1 FAZER」 「FZ1」
	2D1-13907-03	平成31年2月18日～令和2年10月28日	27 個	
	5YU-13907-05	平成29年12月18日～平成31年1月28日	16 個	「MT-01」
	5YU-13907-06	平成31年3月1日～令和2年9月25日	18 個	
	2C0-13907-01	平成29年10月17日～令和元年6月5日	5 個	「YZF-R6」
	2C0-13907-02	令和元年9月6日～令和2年9月24日	7 個	
	3D8-13907-01	平成30年3月8日～平成30年9月13日	4 個	「XVS1300」
	3D8-13907-02	令和元年8月14日～令和2年10月17日	6 個	
合計			209 個	

交換修理用部品が組付けられた車両は、同様の改善を実施する。